

1 目的

この基準は、「青梅市図書館資料収集基準」にもとづき、図書館資料として収集する資料を適切かつ効率的に選定するため、必要な事項を定めることを目的とする。

2 資料全般

資料は、総則に始まり「日本十進分類法（NDC）」の類ごとに、その類に総じて適用される基準について箇条書きし、その後綱目表に沿って各綱中の特徴的もしくは必要項目について記述する。したがって、記述のない項目は、類ごとの総則的な基準により選定する。

3 資料別選定基準

(1) 一般図書館の選定基準

<0類 総記>

ア 評価の定まったものを選定する。

イ 最新のものを選定する。

ウ 主題がいくつかの分野にまたがったもの、あるいはどの分野にも属さない主題を扱ったものを幅広く選定する。

エ 「書誌学」「百科事典」「一般年鑑」などは参考図書館の分野と重複する場合もあるが、バランスを保って選定する。

000 総記

- ・情報の集め方、整理法および活用法について書かれた最新の資料を選定する。

007 情報科学

- ・入門書・解説書を中心に専門的なものまで体系的に選定する。
- ・最新の情報を提供できるように、資料の更新を図る。
- ・個別のソフトウェアの操作マニュアルを選定する。
- ・情報化社会など、コンピュータと社会に関わることについて記した資料を選定する。
- ・個別のソフトウェアの開発の変遷や、過去の操作マニュアルを必要に応じて選定する。

010 図書館・図書館学

- ・図書館および図書館情報学のこれまでの歴史、最近の動向および今後の展開についてまとめられている資料を選定する。
- ・国内の図書館、市内の大学図書館、学校図書館その他類縁機関に関する資料を幅広く選定する。

019 読書・読書法

- ・読書活動推進のため、読書や読書法に関する資料は、積極的に選定する。
- ・読書入門案内、読書の方法などは、多種多様な本の読み方を紹介している資料を偏りなく選定する。
- ・児童資料の研究書を選定する。
- ・児童・青少年のための図書・読み聞かせ・作品の選び方や概説が紹介されている資料を積極的に選定する。

020 図書・書誌学

- ・書誌類・目録類、その他情報検索に役立つ資料を選定する。
- ・著作権に関する資料は、基礎知識を中心にさまざまな媒体を扱ったものを選定する。特に図書館に関わるものは、積極的に選定する。
- ・編集・造本については、実用書を選定する。
- ・出版流通に関する資料は、図書館に関わる資料を中心に基礎的な資料を選定する。

030 百科事典

- ・最も利用されるレファレンス資料であるため、標準型・ジャンル別・普及版・1冊ものなど、各種を選定する。
- ・最新の情報を提供できるように、資料の更新を図る。
- ・必要に応じて貸出用複本も用意する。

- ・外国語版は、必要に応じて選定する。
- 040 一般論文集．一般講演集
 - ・一般向けのものを選定する。
- 049 雑著
 - ・雑著は、低俗にならないように選定する。
- 050 逐次刊行物
 - ・逐次刊行物として発行されたもので必要であれば図書として選定する。
 - ・多様な雑誌の出版文化を紹介した図書を積極的に選定する。
- 059 一般年鑑
 - ・一般年鑑は、最新の情報を提供できるよう各種選定し、更新を図る。
- 060 団体
 - ・図書館類縁施設・博物館に関する資料は、広く積極的に選定する。
- 070 ジャーナリズム．新聞
 - ・主要な新聞の縮刷版を選定する。
 - ・表現の自由、報道と人権について書かれた図書を積極的に選定する。
- 080 そう書．全集．選集
 - ・全体的な内容を捉えるため、単行本にならない分を補えるように、主要なそう書・全集・選集については、積極的に選定する。
- < 1 類 哲学 >
 - ア 入門書を中心に選定する。
 - イ 著名な思想家の著書・評伝・解説書・研究書を選定する。
- 100 哲学
 - ・哲学概論・哲学史・哲学辞典は、基礎的な資料を選定する。
 - ・そう書・全集については、著名な哲学者や思想を扱った資料を選定する。
- 110 哲学各論
 - ・入門書や一般向けの内容の資料を選定する。
- 120 東洋思想～130 西洋哲学
 - ・著名な思想家の著作を選定する。
 - ・著名な思想家の伝記・評伝を選定する。
 - ・代表的な各思想・哲学各派は、原典から入門書・解説書・研究書まで、幅広く選定する。
 - ・現代の哲学者の著作にも留意して選定する。
- 140 心理学
 - ・入門書から研究書まで、幅広く選定する。
- 147 超心理学．心霊研究
 - ・出版点数が多く、主張も多岐にわたる分野なので、内容について慎重に検討して選定する。
 - ・興味本位のもの、論理的裏付けの乏しいものは選定しない。
 - ・著名な著者の著作、話題作に留意して選定する。
- 148 相法．易占
 - ・基本的な内容の資料を幅広く選定する。
 - ・興味本位のもの、論理的裏付けの乏しいものは選定しない。
 - ・名付け事典は、流行もあるので、最新情報に留意して選定する。
- 150 倫理学
 - ・入門書や一般向けの内容の資料を選定する。
- 159 人生訓．教訓
 - ・出版点数が多いので、内容について慎重に検討の上、幅広く選定する。
 - ・著名な著者の著作に留意して選定する。
- 160～190 宗教
 - ・宗教・宗派の偏りがないように、入門書・概説書を幅広く選定する。
 - ・三大宗教（仏教、イスラム教、キリスト教）やその他主要な宗教の経典・解説書・研究書

を選定する。

- ・古典的な宗教家の著作や伝記・評伝・研究書を選定する。

< 2類 歴史・地理 >

ア 一般向けに書かれた読み物をはじめ、入門書・概説書・解説書から専門的な研究書まで選定する。

イ 特定の学説や歴史観に偏らないよう選定する。

ウ 通史・時代史・地域史などのそう書は、幅広く選定する。

200 歴史

- ・入門書・概説書を選定する。

209 世界史・文化史

- ・戦争については様々な見解があるので、内容に留意し、偏りのないように選定する。

210 日本史

- ・様々な観点・時代の資料を入門から専門書まで、内容に留意し、偏りのないように選定する。
- ・最新の発見や学説に留意して選定する。

211 北海道地方～219 九州地方

- ・入門書を選定する。
- ・主要なテーマを扱った資料については、研究書も選定する。
- ・東京都と隣接地域の資料は、地域資料との兼ね合いもあるので、その受入状況を踏まえた上、選定する。

220～270 各国史

- ・様々な国・地域・時代に関する基礎的な資料を幅広く選定する。
- ・最新の発見や学説に留意して選定する。
- ・古代文明・革命・宗教改革など、主要なテーマについては、入門書だけでなく、研究書も選定する。
- ・出版点数の少ない国や地域に留意して選定する。

280 伝記

- ・最新の情報に留意して選定する。
- ・歴史上の人物については、幅広く選定する。
- ・自伝・評伝は、著名人を中心に選定する。

290 地理

- ・様々な国・地域に関する基礎的な資料を幅広く選定する。
- ・日本地理・世界地理は、最新の情報に留意して選定する。
- ・地図類は、最新の情報に留意し、縮尺・地域・形態など、様々な資料を選定する。
- ・旅行ガイドブックは、目的に応じた、各地域・形態・内容の資料を選定し、最新の情報を提供できるように、資料の更新を図る。
- ・個人の体験記、エッセイは厳選する。

< 3類 社会科学 >

ア 出版点数が多く、分野も多岐にわたるため、類書については内容を慎重に検討して選定する

イ 多様な観点からの資料をバランスよく選定する。

ウ 実務に必要な実用書を幅広く選定する。

エ 社会的な諸問題に関する資料は、積極的に選定する。

オ 資格試験・学校受験問題集は選定しない。

300 社会科学

- ・特定のテーマ・国に偏ることのないように留意し、新しい資料を積極的に選定する。

302 政治・経済・社会・文化事情

- ・著者の経歴・記述の客観度に留意して選定する。
- ・出版点数の少ない地域の資料に留意して選定する。

304 論文集・評論集・講演集

- ・出版点数が多いので、テーマ・内容に留意して選定する。
- 308 そう書. 全集. 選集
 - ・社会科学の古典・名著を網羅できる内容の資料を選定する。
- 309 社会思想
 - ・各主義の基本文献を中心に、体系的に選定する。
- 310 政治
 - ・多様な観点に立った、客観的な内容の資料を選定する。
 - ・全体として、特定の党派・主義に偏らない資料を選定する。
- 314 議会
 - ・日本および外国の議会制度に関する基本的な資料を選定する。
- 315 政党. 政治結社
 - ・国内の政党を中心に選定する。
- 318 地方自治. 地方行政
 - ・市立の図書館として、行政に役立つ資料を選定する。
 - ・市民の身近な問題に留意し、実用書を選定する。
- 320 法律
 - ・各分野の基本書を体系的に選定する。
 - ・主要なそう書は、幅広く選定する。
 - ・市民の日常生活に役立つ実用的な法律書を積極的に選定する。
 - ・法令集・判例集は、参考図書・雑誌などを考慮の上、体系的に選定する。
 - ・法改正に伴う資料の更新に留意して選定する。
- 323 憲法～329 国際法まで
 - ・多様な学説・資料を幅広く選定する。
 - ・入門書を中心に、研究書までの資料を幅広く選定する。
 - ・市民生活と係わりの深い分野については、実用的な資料を積極的に選定する。
- 330 経済
 - ・入門書を中心に、研究書までの資料を選定する。
- 331 経済・経済思想
 - ・多様な諸学説に留意し、幅広く選定する。
 - ・古典的な著作については、網羅的に選定する。
- 332 経済史. 事情. 経済体制
 - ・日本に関する資料については、入門書から専門書まで、積極的に選定する。
- 334 人口. 土地. 資源
 - ・人口・資源問題は、今日的なテーマとして、積極的に選定する。
- 335 企業・経営
 - ・企業実務など需要のある分野は、ビジネス資料としても積極的に選定する。
 - ・企業哲学に関する資料は、著名な人物を中心に選定する。
- 338 金融・銀行・信託
 - ・実用的な資料を選定する。
 - ・投資に関する資料は厳選する。
- 340 財政
 - ・最新の情報を提供できるように、資料の更新に留意して選定する。
- 345 租税
 - ・実用的な資料を中心に選定する。
- 350 統計
 - ・基本的な資料は、網羅的に選定する。
 - ・最新の資料を提供できるように、雑誌やデータベース資料にも留意して選定する。
- 360 社会
 - ・日常生活に役立つ実用的な資料を幅広く選定する。
 - ・社会的に関心の深いテーマは、積極的に選定する。

- 361 社会学
- ・古典的な著作については、網羅的に選定する。
- 366 労働経済・労働問題
- ・労働法・安全衛生・賃金・外国人労働などについて、基本的な資料を選定する。
 - ・職業案内・資格試験の資料など、実用的な資料を選定する。
- 367 家族問題・男性・女性問題・老人問題
- ・今日的なテーマとして、社会的関心の深い分野であるので、多様な観点からの資料を積極的に選定する。
- 368 社会病理
- ・自殺、少年非行、薬物乱用、組織犯罪などについては、時事性・話題性のある分野なので、内容について慎重に検討し幅広く選定する。
 - ・青少年犯罪については、特にプライバシーなどを考慮し、興味本位の選定はしない。
- 369 社会福祉
- ・女性福祉・老人福祉・高齢化問題・災害・児童福祉は、実務から研究までの資料を幅広く選定する。
- 370 教育
- 371 教育学・教育思想～372 教育史
- ・古典的な著作については、網羅的に選定する。主要なそう書を選定する。
 - ・今日的な資料については、多様な観点・レベルの資料を選定する。
- 373 教育政策～377 大学・高等・専門教育
- ・教育政策に関わる基本資料・解説を選定する。
 - ・基本的な実務に役立つ資料を選定する。
- 378 障害児教育
- ・実務から研究までの資料を幅広く選定する。
- 379 社会教育
- ・生涯学習推進の観点から、幅広く選定する。
 - ・家庭教育・しつけに関する基本資料を選定する。
- 380 風俗習慣・民俗学・民族学
- ・主要な叢書を選定する。
 - ・地域資料に留意して選定する。
- 383 衣食住の風俗
- ・調べ物に対応できる基本資料を選定する。
- 385 通過儀礼・冠婚葬祭
- ・実用的な資料を幅広く選定する。
- 388 伝説・民話
- ・基本書を中心に体系的に選定する。
- 390 国防・軍事
- ・記述の客観性に留意して選定する。
 - ・古典的な著作については、代表的な資料を選定する。
 - ・様々な観点の資料を選定する。
- < 4 類 自然科学 >
- ア 入門書から専門書まで、幅広く選定する。
- イ 中高生や一般までの様々な対象に向けた、分かりやすい資料を選定する。
- ウ 青梅市と近隣地域に関わる資料は、地域資料とは別に、特に留意して選定する。
- 400 自然科学
- ・調べ物に必要な基礎資料は、積極的に選定する。
 - ・学習導入や意欲向上の契機となり、自然科学への興味を喚起する資料を選定する。
- 410 数学～430 化学
- ・入門書から専門書まで、バランスよく選定する。
 - ・内容の大半が演習問題で構成されている問題集の形態のものおよび専門的な学習参考書、

試験問題集や検定試験のための資料は、選定しない。

440 天文学・宇宙科学

- ・入門書から専門書まで、幅広く選定する。
- ・文章だけでなく、図や絵、写真など、視覚的に分かりやすさを工夫した資料に留意して選定する。
- ・趣味や実用に役立つ資料を選定する。

450 地球科学・地学

- ・入門書から専門書まで、バランスよく選定する。
- ・地震などの自然災害については、その仕組みや過去の記録を解説したものを選定する。
- ・文章だけでなく、図や絵、写真など、視覚的に分かりやすさを工夫した資料に留意して選定する。

460 生物科学．一般生物学

- ・学習導入のきっかけとなる入門書から、解説書や研究書などの主題を掘り下げた専門的なものまで選定する。

470 植物学

- ・解説の詳しい図鑑を中心に、簡易な携帯版も選定する。
- ・調査研究に役立つ資料を選定する。
- ・各種の植物について、和名や学名からだけでなく、色や大きさなどの形態や、分布などの特徴からも調べられるように、編集内容に留意して選定する。

480 動物学

- ・図鑑は、写真の大きさや見易さを考慮し、分類の構成などが調べやすいものを選定する。
- ・種類別に、動物の分布・生息地・生態・進化などの研究ができるように、体系的に網羅した資料を選定する。

490 医学

- ・実用書を中心に、入門書から詳細な解説書まで選定する。
- ・医師や医学生を対象とした、高度な専門書は選定しない。
- ・最新の情報を提供できるように、留意して選定する。
- ・民間療法や健康法は、最新情報や流行、科学的根拠など、内容に留意して選定する。
- ・古典的な著作については、代表的な資料を選定する。
- ・社会的な諸問題に関する資料は、積極的に選定する。

< 5 類 技術 >

ア 入門書・概説書など基本的な資料を中心に、専門的な資料についても利用が見込める場合は選定する。

イ 技術または工業は、その進歩と変化が著しいので、常に最新の情報を提供できるように、資料の更新に、留意して選定する。

ウ 科学技術の最近の動向について分かりやすく書かれたものを選定する。

エ 社会的関心を呼んでいるものを選定する。

オ 趣味や実用に役立つ資料を幅広く選定する。

500 技術．工業

- ・入門書から専門書まで、選定する。
- ・最新の情報に留意して選定する。
- ・実務に必要な実用書を幅広く選定する。

510 建設工学．土木工学

- ・入門書から専門書まで、幅広く選定する。
- ・最新の情報に留意して選定する。

518 衛生工学．都市工学～519 公害．環境工学

- ・環境問題や公害など、社会的な諸問題に関する資料は、時事性・話題性のある分野なので、様々な観点から、幅広く選定する。
- ・公害・環境関係は、代表的な公害事件、各種問題、最近の状況がわかるものを選定する。

520 建築学

- ・入門書から専門書まで、バランスよく選定する。
 - ・入門書については、図や写真を使って、分かりやすく解説した資料を選定する。
 - ・最新の情報のみならず、古今東西の歴史や建築様式に留意したものを体系的に選定する。
 - ・代表的な建築家の評伝や作品について解説したものを選定する。
- 527 住宅建築～529 建築意匠・装飾
- ・日常生活に役立つ実用的な資料を積極的に選定する。
 - ・最新の情報がわかる住宅建築、設計、意匠関係の資料も幅広く選定する。
 - ・間取りなどの図集、写真を多用したものに留意して選定する。
- 530 機械工学
- ・入門書や実用書を中心に、幅広く選定する。
 - ・最新の情報に留意して選定する。
- 536 運輸工学. 車輛. 運搬機械～538 航空宇宙工学
- ・趣味や実用に役立つ資料を積極的に選定する。
 - ・時事性・話題性のあるものを中心に、積極的に収集する。
- 539 原子力工学
- ・入門書を中心に選定する。
 - ・最新の情報に留意し、様々な観点に立つ資料を幅広く、偏りがないうように選定する。
- 540 電気工学
- ・入門書から専門書まで、幅広く選定する。
 - ・技術基準に関する資料は、改正の際必ず更新を図る。
 - ・通信技術やコンピュータの分野は技術開発が早く変化が激しいので、最新の情報に留意して選定する。
- 547 通信工学. 電気通信～548 情報工学
- ・時代の流れによる変化が大きい分野なので、最新の情報を提供できるように、資料の更新を図る。
 - ・様々な通信手段に関するものは、趣味や実用に役立つ資料を幅広く選定する。
- 550 海洋工学. 船舶工学
- ・入門書や実用書を中心に幅広く選定する。
- 559 兵器. 軍事工学
- ・様々な観点に立つ資料を幅広く選定する。
- 560 金属. 鉱山工学～570 化学工学
- ・先端技術に関わるものは、入門的なものを選定する。
 - ・様々な観点に立つ資料を幅広く選定する。
- 580 製造工学
- ・先端技術に関わるものは、入門的なものを選定する。
- 588 食品工学
- ・料理との関連で、趣味や実用に役立つ資料を積極的に選定する。
- 590 家政学. 生活科学
- ・出版点数が多いので、内容を慎重に検討し、利用に即したものを選定する。
 - ・実用書を中心に、入門書から詳細な解説書まで選定する。
 - ・最新の情報・流行が盛り込まれたものを幅広く選定する。
- 593 衣服. 裁縫～594 手芸
- ・実用的な資料を中心に選定する。
 - ・文章だけでなく、図や絵、写真など、視覚的に分かりやすさを工夫した資料に留意して選定する。
 - ・多種類の資料を入門編から上級編まで、バランスよく選定する。
 - ・流行や季節感を考慮して選定する。
- 595 理容. 美容
- ・実用的な資料を選定する。
 - ・文章だけでなく、図や絵、写真など、視覚的に分かりやすさを工夫した資料に留意して

選定する。

- ・最新の情報や流行に留意して選定する。

596 食品・料理

- ・実用的な資料を中心に選定する。
- ・最新の情報に留意し、日本・中国・西洋・その他の国や地域について、幅広く選定する。
- ・文章だけでなく、図や絵、写真など、視覚的に分かりやすさを工夫した資料に留意して選定する。
- ・多種類の資料を入門編から上級編まで、バランスよく選定する。
- ・流行や季節感を考慮して選定する。

598 家庭衛生～599 育児

- ・実用書を中心に、入門書から詳細な解説書まで選定する。
- ・最新の情報を提供できるように、資料の更新に留意して選定する。

< 6 類 産業 >

ア 入門書・概説書を中心に選定する。

イ 趣味や実用に役立つ資料を幅広く選定する。

ウ 歴史や現状について書かれた資料を選定する。

600 産業

- ・日本を中心に、産業に関する最新の情報に留意して選定する。

610 農業

- ・様々な国や地域の歴史や事情に関する資料を選定する。
- ・趣味や実用に役立つ資料を選定する。
- ・食糧問題など、社会的な諸問題に関する資料を選定する。

620 園芸

- ・趣味や実用に役立つ資料を積極的に選定する。
- ・写真や図などを多用し、視覚的表現に努めたものを選定する。
- ・多種類の資料を入門編から上級編まで、バランスよく選定する。

630 蚕糸

- ・歴史・概要のわかる資料を選定する。

640 畜産業

- ・畜産に関する資料は、入門書から専門書まで、幅広く選定する。
- ・ペットの飼い方に関する資料は、様々な種類に対応できるように、幅広く積極的に選定する。
- ・最新の情報や話題に留意して選定する。

650 林業

- ・森林破壊など、社会的な諸問題に関する資料を選定する。
- ・趣味や実用に役立つ資料を積極的に選定する。
- ・図鑑は、写真や図を多用し、解説が分かりやすく、索引が充実したものを選定する。

660 水産業

- ・漁業に関する資料は、基本的な資料を選定する。
- ・最新の情報や話題に留意して選定する。
- ・ペットの飼い方に関する資料は、様々な種類に対応できるように、幅広く積極的に選定する。

670 商業

- ・実務や実用に役立つ資料を幅広く選定する。
- ・パチンコや宝くじに関する資料は、その歴史や業界全般にかかる一般的な知識を得られるものを選定し、攻略本は選定しない。

680 交通

- ・歴史や概要の分かる資料を選定する。
- ・趣味や実用に役立つ資料を選定する。
- ・最新の情報や話題に留意して選定する。

・法改正に留意して選定する。

689 観光事業

・ガイドブックは、最新の情報に留意して選定する。

690 通信事業

- ・歴史や概要の分かる資料を選定する。
- ・時代の流れによる変化が大きい分野なので、最新の情報に留意して選定する。
- ・切手収集など、趣味や実用に役立つ資料を選定する。

< 7類 芸術 >

ア 趣味や実用に役立つ資料を選定する。

イ 入門書や実用書は、図や写真を使って、分かりやすく解説した資料を選定する。

ウ 様々な需要に応えられるように、内容や形態に留意し、幅広く選定する。

エ 調査研究に利用できる解説書を選定する。

700 芸術. 美術

- ・入門書から専門的な解説書まで、幅広く選定する。
- ・古典から現代まで、幅広く選定する。
- ・代表的な美術館の解説書を選定する。
- ・世界遺産および日本の重要文化財や国宝について、解説・紹介しているものを選定する。

708 そう書. 全集. 選集

・代表的な美術図集について、作品の解説や時代背景、作者の研究など、それぞれ特徴あるものを幅広く選定する。

710 彫刻

- ・彫塑の技法や材料、歴史について解説しているものを選定する。
- ・代表的な彫刻や彫刻家について解説したものを選定する。
- ・技術的入門書や実用書を中心に、様々な作品を扱っている資料を選定する。

720 絵画～730 版画

- ・入門書や実用書を中心に、技法や鑑賞法について解説したものを選定する。
- ・技法は、分かりやすい基礎から、専門的な領域のものまで、幅広く選定する。
- ・代表的な作品や画家について解説したものを選定する。
- ・絵画史や図案については、体系的に選定する。
- ・それぞれの時代や様式に留意した画集を体系的に選定する。
- ・コミックスは、基本的に選定しない。ただし、分館については、継続購入している資料は、この限りでない。
- ・大人向けの絵本は、利用が見込まれそうなものを選定する。

740 写真

- ・写真史や技法については、基本書を中心に、実用的なものを選定する。
- ・代表的な写真家の評伝や作品について研究したものを選定する。

748 写真集

- ・評価の定まった代表的な写真家の作品集を選定するほか、テーマ別に多岐にわたった写真集を選定する。
- ・特に地域性のある写真集は、積極的に選定する。
- ・アイドル歌手やタレント等の写真集は、一般的に流行が一過性であることから、選定しない。

750 工芸

- ・入門書から高度な専門書まで、体系的に選定する。
- ・伝統的な工芸に関する研究書・歴史書・作品集・解説書を体系的に選定する。

757 デザイン. 修飾美術

- ・インテリアデザインや配色については、資料の形態に留意して、豊富な図版と色見本が載っているものを選定する。
- ・伝統色・時代色・装飾文様やデザインについての歴史を研究したものを選定する。

760 音楽

- ・音楽論について研究したものを選定する。
- ・代表的な名曲の解説集を選定する。
- ・各国の音楽史や代表的な音楽家の列伝について、入門書から専門書まで、幅広く選定する。
- ・各楽器の基本的な資料・技法は、体系的に選定する。
- ・楽譜は選定しないが、歌集、楽譜集は基本的なものを選定する。
- ・舞踊は、入門書を中心に、その歴史や舞踏家について研究したものを選定する。
- ・鑑賞のガイドとなる資料を選定する。

770 演劇

- ・入門書を中心に、その歴史・舞台技術や演出に関する資料を選定する。
- ・歴史や鑑賞法、代表的な演目の解説、演技者について解説したものを幅広く選定する。
- ・時代を象徴した作品や人物について解説したものを選定する。
- ・学校劇については、シナリオ集を中心に選定する。
- ・代表的な映画の評論や、著名な映画関係者について解説しているものを選定する。
- ・タレント・芸能人本は、内容を精査したうえで慎重に選定する。

779 大衆演芸

- ・奇術では、実用的な資料を中心に選定する。

780 スポーツ・体育

- ・各種目にわたって、基本書・入門書・実用書を中心に、わかりやすい資料を幅広く選定する。
- ・新しい種目や用語・ルールの改正に留意し、最新の内容の資料を選定する。
- ・時事性・話題性にも留意し、話題の選手・競技について選定する。
- ・指導や研究に役立つ、記録や歴史に関する資料を選定する。
- ・子どもから高齢者まで、資料の対象年齢層にも留意して選定する。
- ・スポーツ観戦の盛んな種目については、「観る」側からの資料も選定する。
- ・人気のある分野については、初級から上級まで、幅広く選定する。
- ・競馬・競輪・競艇・オートレースに関する資料については、スポーツの観点から書かれたものを選定し、攻略本は選定しない。

790 諸芸・娯楽

- ・基本書・入門書・実用書を中心に、幅広く選定する。
- ・初級から上級まで、幅広く選定する。
- ・各主要流派のものを偏ることなく選定する。
- ・ゲーム攻略本等特定の機種にしか使えないもので、長期間個人が占有し利用することを目的とするものは選定しない。

< 8類 言語 >

ア 入門書・概説書を中心に選定し、日本語については、専門書も選定する。

イ 辞典類は、この分野の中心となる資料なので、重点を置いて選定する。

ウ 特に日本語の辞典類は、用途に応じて、幅広く選定する。

エ 各国語の語学書については、主要な言語を中心に選定し、その他の言語については、入門書程度をそろえ、あとは必要に応じて選定する。

オ 広く学習されている言語については、文法や発音、学習法等も選定する。

800 言語～810 日本語

- ・言語学・言葉・文字については、基本的な資料を体系的に選定する。
- ・実用に役立つ資料を幅広く選定する。
- ・日本語論については、入門書から専門書まで選定する。

820～899 各国語

- ・主に語学の習得を目指したもの、旅行用会話、手紙の書き方など、実用的な資料を選定する。
- ・CDなどの音声資料のついた学習書についても選定する。

830～837 英語

- ・入門書から専門書まで選定する。

- ・語学学習書から読み物まで、幅広く選定する。
- ・旅行会話からビジネスに役立つ会話集まで、実用的なものを選定する。
- ・辞典類は、英和・和英・慣用表現・英英辞典など、用途に応じて、幅広く選定する。

< 9 類 文学 >

- ア 古典から現代文学まで、体系的に選定する。
- イ 娯楽的なものから専門的な研究書まで、幅広く選定する。
- ウ 全集・作品集については、著作者や編集内容などに留意して選定する。
- エ 特に利用の多い作品については、全集・単行本・文庫本など、資料の形態に留意して選定する。
- オ リクエストの多いものは、必要に応じて複本も考慮する。
- カ 主な文学賞受賞作品は、積極的に選定する。

900 文学

- ・文学作法や文学史は、入門書を中心に選定する。
- ・評論などの専門書については、分かりやすいものからテーマを掘り下げた研究書まで、幅広く選定する。
- ・各時代や文学形式に偏りがないように、バランスよく選定する。
- ・児童書の研究書や文学案内に留意して選定する。
- ・各文学形式において、長期的に資料価値が継続するような研究書を体系的に選定する。

910 日本文学

- ・個人の学習・研究に対応できる資料を幅広く選定する。
- ・作家研究書や作品論に留意し、時代別に網羅的に選定する。
- ・評価の定まった代表的な作品は、注釈や鑑賞法について解説したものを選定する。

911 詩歌

- ・代表的な全集や作品集を選定する。
- ・代表的な作家の作品集のほか、短歌・俳句などの入門書や鑑賞・解説書を選定する。

913 小説・物語

- ・現代の小説では、代表的な作家から新人までを対象に、幅広く選定する。
- ・利用が見込まれる作品は、積極的に選定する。
- ・受賞作や、多くの評価を得た作品に留意して選定する。

914 評論・エッセイ・随筆～916 記録・手記・ルポルタージュ

- ・人気のある作家を中心とし、時事の話題となったものは、内容を精査した上で慎重に選定する。

920～990 外国文学

- ・各分野の代表的な作品の注釈や解説・作家研究などを中心に、幅広く選定する。
- ・全集・作品集の形での選定にも留意する。
- ・現代文学は、著名な作家や話題となった作品を中心に、利用が多いものは積極的に選定する。

(2) 参考図書の選定基準

通読を目的とせず、主として特定の知識、情報を得るための資料を「参考図書」とし、常に利用者が調査、研究で利用できることに留意して選定する。

- ア レファレンスのツールとして、各分野の基本的な資料は、網羅的に選定する。
- イ 最新の情報が提供できるように、資料の更新に留意して選定する。
- ウ 内容が正確で、信頼できる編著者・出版社の資料を選定する。
- エ 社会的評価の高い資料は、積極的に選定する
- オ 長期の利用に耐えられる造本の資料を選定する。
- カ データベース資料も考慮し、効率的に選定する。

・百科事典

- ・030に準ずる。

・新聞縮刷版

- ・参考図書として扱い、積極的に選定する。

- ・年鑑・白書
 - ・一般年鑑は059に準ずる。
 - ・各分野にわたり、長期的な視野に立って選定する。
 - ・国が編集した白書は、原則として選定する。
- ・事典
 - ・各分野にわたり、幅広く積極的に選定する。
 - ・内容が正確でデータの新しい資料を選定する。
 - ・レファレンスに役立つように、様々な項目立てのものを選定する。
 - ・索引・図版・参考文献が整って使いやすい資料を選定する。
- ・言語辞典
 - ・言葉を調べる資料として、語句の説明が明確な資料を選定する。
 - ・日本語については、中学生から研究者までを対象に、国語辞典・語源辞典・古語辞典・漢和辞典・故事熟語辞典・方言辞典など、積極的に選定する。ただし、類書も多いので、用途を考慮し、バランスよく選定する。
 - ・外国語については、利用頻度に応じ、積極的に選定する。また、利用の少ない言語に関しても、最低一種類の対訳辞典を選定できるように、出版情報に留意する。
- ・図鑑
 - ・図版が鮮明で正確であり、解説が見やすい資料を選定する。
 - ・学術的な動植物図鑑は、学名・和名など、索引が引きやすい資料を選定する。
- ・年表
 - ・時代・分野を網羅できるように、積極的に選定する。
 - ・元号・西暦から調べることができ、できるだけ月日まで記してある資料を選定する。
- ・その他
 - ・便覧・書誌・地図・法令集などを一般書の基準に準じ、積極的に選定する。

(3) 児童図書の選定基準

- ・総記 — 0 類— 学問全般について
 - ・対象とする年代の子どもに対して、説明が難しすぎないものを選定する。
 - ・最新の情報や研究成果にもとづく、記述が正確な資料を選定する。
 - ・図書館の利用方法については、興味を促す内容のものを選定する。
 - ・図書の目録は、子どもにふさわしい文献が載っている、探しやすいものを選定する。
 - ・百科事典・図鑑
 - ・項目が充実していて、索引が引きやすいものを選定する。
 - ・テーマ別・教科別・50音順など、多角的に調べられるように、複数選定する
 - ・写真や図版などが多く取り入れられているものを選定する。
- ・哲学 — 1 類— 思想・考え方
 - ・国家的・政治的・宗教的に偏りが無いものを選定する。
 - ・一つの学派・宗派を著しく賛美または攻撃していないものを選定する。
 - ・広く一般知識としての哲学・宗教について書かれているものを選定する。
 - ・人種・宗教・思想・性などに、差別意識のないものを選定する。
- ・歴史・地理・社会・技術・産業 — 2 類・ 3 類・ 5 類・ 6 類—
 - ・事実を客観的に伝えるものを選定する。
 - ・できるだけ最新の資料を使っているものを選定する。
 - ・各主題への興味を喚起させるものを選定する。
 - ・著者の歴史観に偏りが無いものを選定する。
 - ・公正な立場で書かれているものを選定する。
 - ・社会への関心を喚起させるものを選定する。
 - ・安易にフィクション化されていないものを選定する。
 - ・対象に見合った、分かりやすい書き方をしているものを選定する。
 - ・写真や図版などが、多く取り入れられているものを選定する。
 - ・使いやすい索引・年表が載っているものを選定する。

- ・子どもの総合学習・調べ学習・宿題・自由研究など、調べ物に利用できるものを選定する。
- ・伝記 — 2類—
 - ・被伝者の行動や業績が、客観的に書かれているものを選定する。
 - ・安易にフィクション化されていないものを選定する。
 - ・単に事実やエピソードの羅列にとどまらず、文学的に楽しめるものを選定する。
 - ・子どもに分かる文章で書かれているものを選定する。
 - ・時代背景が正しく描かれているものを選定する。
- ・科学 — 4類—数と自然科学
 - ・科学的な裏付けにもとづいて書かれているものを選定する。
 - ・対象とする年代の子どもに理解できる、用語・文章で書かれているものを選定する。
 - ・図版・表・写真などは、正確で分かりやすいものを選定する。
 - ・調べ物に使用される図書については、索引・用語解説などがしっかりしているものを選定する。
- ・実用書 — 5類・7類—趣味・スポーツ・遊び・図工
 - ・解説は正しく、子どもに理解できるものを選定する。
 - ・写真や図版などが、多く取り入れられているものを選定する。
 - ・内容が新鮮で、子どもの要求や能力に合い、楽しみながら経験を充実させることができるものを選定する。
 - ・身近な材料や道具を使って作ることができ、安全性に対する配慮がなされているものを選定する。
 - ・本を読んで、自分で実際に作ったり、遊んだりできるものを選定する。
- ・言語 — 8類・3類—日本語・外国語・文章の書き方・話し方・ことわざ
 - ・日本語を正しく使っているものを選定する。
 - ・日常生活・学校の中で役立つものを選定する。
 - ・対象とする年代の子どもにあった書き方をしているものを選定する。
 - ・説明・用例が正確で分かりやすいものを選定する。
 - ・子どもの興味を深めるものを選定する。
 - ・外国語については、各国の言葉の初歩（文字・挨拶・解説）のものを選定する。
 - ・英語の語学学習の本は、小学校での学習内容程度に留め、それより高度なものは、中学・高校生向け図書あるいは一般書に入れる。
 - ・外国語の絵本・物語は、多文化サービスの中で収集し、児童書の言語学の中に入れてない。
- ・辞典 — 8類—国語辞典・漢和辞典・言葉の辞典
 - ・社会的評価の高いものを選定する。
 - ・児童書を手掛けている出版社のものを選定する。
 - ・対象年齢を考慮した内容・記述に配慮があるものを選定する。
 - ・対象・収録範囲などが、子どもに分かりやすく説明しているものを選定する。
 - ・目次・索引・構成が、子ども向きに充実しており、使い方の説明も分かりやすいものを選定する。
 - ・外国語辞典は、小学生向き・初歩のものを選定する。
 - ・古語辞典は中学・高校生向け図書の中で選定する。
- ・詩歌 — 9類—現代詩・俳句・短歌・川柳など
 - ・文学性が高く、子どもの心を豊かにするものを選定する。
 - ・ことばの美しさを感じさせてくれるものを選定する。
 - ・リズムカルで、子どもを引き付ける表現で書かれているものを選定する。
 - ・古典については、解説・現代語訳などが分かりやすいものを選定する。
 - ・各時代の代表的な作品で、子どもにも理解できる内容のものを選定する。
- ・神話 — 1類—
 - ・原型が誠実に再現され、重要な部分が省略されたり、余計な部分が加えられていないものを選定する。
- ・伝説・民話 — 3類—

- ・昔話の特徴を備えているものを選定する。
- ・子どもが耳から聞いて、面白いものを選定する。
- ・再話者が、説明的・教訓的な文で、現代生活の合理性を持ち込んでいないものを選定する。
- ・神話や伝説と昔話を混同していないものを選定する。
- ・挿絵が主題の雰囲気壊していないものを選定する。
- ・幼年童話 — 9類—対象が幼児から10歳くらいの物語
 - ・幼児の認識や倫理に即した面白さがあるものを選定する。
 - ・子どもの要求や興味に合っていて、登場人物にスムーズに同化できるものを選定する。
 - ・子どもの想像力を膨らませるものを選定する。
 - ・発想が新鮮で、独創的かつ具体的であるものを選定する。
 - ・話の展開に無理がなく、楽しく読み進められ、結末が納得のいくものを選定する。
 - ・正しい日本語・言葉遣いに注意しているものを選定する。
 - ・挿絵が内容の理解を助けるものを選定する。
 - ・構成が分かりやすく、表現が具体的であるものを選定する。
 - ・子どもが手に取りやすい大きさのものを選定する。
 - ・装丁や編集が適切なもの（表紙・目次・行間・字の大きさ・余白）を選定する。
 - ・造本がしっかりしていて、壊れにくいものを選定する。
- ・児童文学 — 9類—
 - ・子どもの興味と関心を捉えていて、心から楽しませるものを選定する。
 - ・現実と非現実との移行に無理がなく、読者を引き込む文章であるものを選定する。
 - ・登場人物が個性豊かに生き生きと描かれているものを選定する。
 - ・ストーリーに必然性やテーマがあり、独創性や文学性に富んだものを選定する。
 - ・正しい日本語・言葉遣いに注意しているものを選定する。
 - ・挿絵が内容に適したものを選定する。
- ・絵本
 - ・特定の主人公について語られ、子どもが共感できるものを選定する。
 - ・起承転結のはっきりとした構成を持つものを選定する。
 - ・ストーリーが優れ、納得のいく結末のものを選定する。
 - ・子どもが楽しめるものを選定する。
 - ・絵と文が一体となって展開しているものを選定する。
 - ・絵からストーリーがたどれるものを選定する。
 - ・絵は生き生きとして、ストーリーの雰囲気・内容にふさわしいものを選定する。
 - ・言葉が分かりやすく適切で、日本語として美しいものを選定する。
 - ・絵・活字の大きさ、文章のバランスが取れているものを選定する。
 - ・造本がしっかりしていて、壊れにくいものを選定する。
 - ・赤ちゃん絵本
 - ・おもちゃとしての要素を持ち、読み聞かせなどにより、大人も一緒になって楽しめるものを選定する。
 - ・子どもが手に取りやすい版型のものを選定する。
 - ・絵は、明るい色彩・はっきりとした形で描かれているものを選定する。
 - ・内容は、単純明快で楽しいものを選定する。
 - ・文章は、リズムカルで、音として聞いて心地良いものを選定する。
 - ・知識絵本
 - ・正確な知識が書かれているものを選定する。
 - ・絵・写真などが正確なものを選定する。
 - ・関連事項も適切に取り上げているものを選定する。
 - ・対象とする年代の子どもに対して、説明が難しすぎないものを選定する。
 - ・布の絵本
 - ・紙の代わりに主に布を使って製作され、触って楽しむことのできるものを選定する。
 - ・単純な作りであるものを選定する。

・紙芝居

- ・起承転結がはっきりしているものを選定する。
- ・ストーリーは単純明快で、納得のいく結末であるものを選定する。
- ・子どもの興味・発育段階に応じたテーマを持ち、楽しめるものを選定する。
- ・読みやすい文章で、リズム感があり、聞き手が理解しやすい文章であるものを選定する。
- ・会話に登場人物の個性がよく生かされているものを選定する。
- ・遠くからみて、はっきり分かるものを選定する。
- ・絵と文があっているものを選定する。
- ・印刷がきれいなものを選定する。
- ・一枚の場面に、絵と文の量がバランスよく配分されているものを選定する。
- ・一度に複数の子どもが楽しめる紙芝居の特色を生かせるものを選定する。

・マンガ ー7類ー

- ・ストーリーマンガ（コミックス）は、評価は様々であり、現状の中（予算・スペース）では選定しない。ただし、分館については、継続購入している資料は、この限りでない。
- ・学習マンガ
 - ・学問上の真理や歴史上の事実をゆがめたり、無視していないものを選定する。
 - ・ストーリーの展開、場面・人物設定に無理のないものを選定する。
 - ・マンガという表現手段を有効に使い、わかりやすく、理解を深めさせるものを選定する。
 - ・その分野の興味を喚起させるものを選定する。
 - ・趣味や知識の分野で、その導入としてふさわしいものを選定する。

(4) 中学・高校生向け図書の選定基準

- ア 各分野の選定は、一般書・児童書の基準に準ずる。
- イ 対象が中高生向きのものを選定する。
- ウ 中高生の利用が見込まれそうなものを、児童書・一般書問わず選定する。
- エ 調べ物の本は、対象が明らかに中高生向けの場合は選定する。小学生でも十分利用できそうな資料は、児童書で選定する。
- オ 読み物は、中高生を意識して書かれた本（主人公が同世代など）を選定する。

(5) 地域資料の選定基準

- ア 図書・新聞・雑誌・行政資料・パンフレット・リーフレット・写真・地図など、多様な形態の資料を可能な限り選定する。
- イ 博物館的資料の収集については、博物館などの類縁機関との調整を図りながら選定する。古文書は市の郷土博物館が収集しているので、内容を精査した上で慎重に選定する。

・青梅市

- ・青梅市について書かれた資料を積極的に選定する。
- ・青梅市に関する歴史・生活・自然・文化などの各分野について、網羅的に選定する。
- ・青梅マラソンや奥多摩駅伝など、青梅市で開催された行事について書かれた資料を選定する。
- ・青梅市が作成および発行する、統計書・要覧・目録・規則・名簿などの行政資料については、網羅的かつ継続的に選定する。
- ・青梅市出身者および在住者が、著作または発行した資料は積極的に選定し、寄贈依頼にも留意する。
- ・青梅市ゆかりの人物の著作に留意して選定する。
- ・青梅市を題材としている資料については、地域資料のみでなく、一般書での利用も留意して選定する。
- ・青梅の地域生活に結びつく情報が掲載されている資料を選定する。
- ・青梅市に所在する教育機関・会社・諸団体が発行した資料・記録を選定する。
- ・青梅市に所在する国および東京都の機関またはこれに準ずる機関の発行した資料については、青梅市に関連するものを選定する。
- ・多摩川について書かれた資料は、積極的に選定する。

・西多摩郡地区

- ・青梅市と密接な関わりを持つ地域なので、発行される資料には特に注意し、寄贈依頼にも留

意する。

- ・統計書・要覧などの行政資料を積極的に選定する。
 - ・歴史・生活・自然・文化などの各分野について書かれた資料を積極的に選定する。
 - ・市町村、その外郭団体および文化財関係機関が発行した資料は、積極的に選定する。
 - ・官公庁が発行した資料については、利用が見込まれるものを選定する。
 - ・南多摩郡および北多摩郡地区
 - ・統計書・要覧などの行政資料を中心に選定する。
 - ・歴史・生活・自然・文化などの各分野については、調査研究に利用できる基本的な資料を選定する。
 - ・市町村、その外郭団体および文化財関係機関が発行した資料は、できるかぎり選定する。また、当該外郭団体の発行した資料は、利用が見込まれるものを選定する。
 - ・官公庁が発行した資料については、利用が見込まれるものを選定する。
 - ・三多摩地区全般
 - ・行政資料を中心に、青梅市と他市町村の比較ができるような資料または行政の参考となる資料を積極的に選定する。
 - ・三多摩地区として共通して利用できる、歴史・地理・自然・文化などに関する資料を選定する。
 - ・東京都全般
 - ・行政資料を中心に、東京都全体の調査ができ、各地区との比較ができるような資料を選定する。
 - ・歴史・文化などの各分野については、基本的な資料を中心に選定する。
 - ・東京都およびその外郭団体の発行した資料は、利用が見込まれるものを選定する。
 - ・官公庁が発行した資料については、利用が見込まれるものを選定する。
 - ・区部および島しょ部
 - ・青梅市と関わりのある資料を選定する。
 - ・行政および歴史・地理などの各分野における資料については、利用が見込まれるものを選定する。
 - ・その他、青梅市と関連のある地域
 - ・青梅市と関わりのある資料を選定する。
 - ・埼玉県については、青梅市と隣接する市町村、その外郭団体および文化財関係機関が発行した資料を積極的に選定する。
 - ・近隣の神奈川県・山梨県については、県史を中心に選定する。
 - ・武蔵国の歴史について書かれた資料を選定する。
 - ・青梅市の姉妹都市について書かれた資料を選定する。
 - ・直接的な記述はなくても、青梅市に関わるものであると分かるものについては選定する。
- (6) 外国語資料の選定基準
- ア 英語を中心に、読みものや実用書を必要に応じて選定する。
 - イ その他の言語については、利用をみて選定する。
- (7) 逐次刊行物の選定基準
- ・新聞
 - ア 一般的な総合紙の朝・夕刊を選定する
 - イ ビジネス支援に役立つものを選定する。
 - ウ 周辺地域を中心としたミニコミ紙は、特に留意して選定する。
 - エ 市民のための行政情報が載っている資料を選定する。
 - オ スポーツ・趣味・娯楽に関する一般的な資料を選定する。
 - カ 小中学生向けの資料を選定する。
 - キ 外国語紙は英語紙を中心に選定する。その他の言語については、利用をみて選定する。
 - ク 点字資料を選定する。
 - ・雑誌
 - ア 国内で発行される各分野の代表的な雑誌を中心に、幅広く選定する。

- イ 蓄積することで役立つ資料を選定する。
- ウ 地域情報に留意する。
- エ 一般向けでない高度な学術雑誌・漫画雑誌は、原則として選定しない。
- オ 選定タイトルは、定期的に見直す。

・一般向け雑誌

< 0 類 総記 >

- ・図書館に関する情報についての最新情報が得られる資料を選定する。
- ・読書に役立つ情報が得られる資料を選定する。
- ・子どもの読書活動に役立つ資料は、積極的に選定する。
- ・点字資料およびその関連資料を選定する。
- ・参考図書に関する最新情報が得られる資料を選定する。
- ・新聞記事に関する基本的情報を備えた資料を選定する。

< 1 類 哲学 >

- ・客観的な観点から書かれた一般的な資料を選定する。
- ・過去から現代の哲学について、幅広く書かれている資料を選定する。
- ・心理学について、幅広く書かれている資料を選定する。
- ・超心理学については、娯楽として楽しめる資料を選定する。

< 2 類 歴史 >

- ・歴史・地理について書かれた、一般的な資料を選定する。
- ・歴史については、読み物としても定評のある、代表的な資料を選定する。
- ・地誌・紀行・情報誌は、代表的な資料を幅広く選定する。
- ・地域情報に役立つ資料を選定する。

< 3 類 社会科学 >

- ・多様な観点に立ち、客観的で一般的な資料を選定する。
- ・地方自治に関して書かれている資料は、行政に役立つものを中心に選定する。
- ・法律については、法令・判例を中心に、最新情報が得られる資料を選定する。
- ・日本や世界の経済・経営・金融についての最新情報が得られる資料を選定する。
- ・消費者生活に役立つ資料を選定する。
- ・シニア世代向けの雑誌は、生活に役立つ情報も多く、利用価値が高いので、積極的に選定する。
- ・保育や、介護に関する雑誌は、実用的なものを中心に選定する。
- ・教育は、最新情報の得られる一般的な資料を選定する。

< 4 類 自然科学 >

- ・専門分野に偏らず、幅広い年齢層が利用できる資料を選定する。
- ・図版や統計資料などが多く、見やすく分かりやすい資料を選定する。
- ・各分野の発展・研究に関する最新情報が得られる、代表的な資料を選定する。
- ・健康法については、実用的な内容のものを中心に、幅広く選定する。
- ・医者や医学生などを対象とした高度な専門資料は選定しない。

< 5 類 技術 >

- ・専門分野に偏らず、幅広く利用できる、実用的な資料を選定する。
- ・各分野の発展・動向に関する情報が得られる資料を選定する。
- ・男女のファッションに関する資料は、それぞれの年代に対応した、代表的な資料を選定する。
- ・関心が高く、利用が見込まれる資料は、複数タイトルを選定する。

< 6 類 産業 >

- ・専門分野に偏らず、幅広く利用できる、実用的な資料を選定する。
- ・趣味や娯楽に役立つ資料を幅広く選定する。
- ・最新の動向に関する情報が得られる資料を選定する。
- ・園芸やペット・時刻表など、需要が高く、多くの利用が見込まれる資料を選定する。

< 7 類 芸術 >

- ・趣味や実用において、幅広く利用できる資料を中心に選定する。
 - ・各分野の代表的な資料を選定する。
 - ・技能向上の参考になる資料を選定する。
 - ・各分野の最新情報が得られる資料を選定する。
- < 8類 言語 >
- ・言語に関する代表的な資料を選定する。
 - ・言語習得に役立つ、初歩的な資料を選定する。
- < 9類 文学 >
- ・各分野の代表的な資料を選定する。
 - ・代表的な文学賞を制定している文芸誌を選定する。
- < 総合誌 >
- ・代表的な総合誌を中心に選定する。
 - ・信頼性が低く、内容が低俗なものは選定しない。
- ・児童・青少年向け雑誌
 - ・幼児から高校生までを対象とした資料を選定する。
 - ・子どもの読書活動に役立つ資料を選定する。
 - ・事典の補足となるような最新情報が書かれた資料を選定する。
 - ・世の中の最新情報が、子ども向けに易しく書かれた資料を選定する。
 - ・子どもの趣味や娯楽に役立ち、好奇心を引き出す資料を選定する。
 - ・進路情報が得られる代表的な資料を選定する。
 - ・外国語雑誌
 - ・英語で書かれた資料を中心に選定する。
 - ・その他の言語については、利用をみて選定する。
- (8) ハンディキャップ資料の選定基準
- ア 視覚や聴覚などに障害があり、通常の図書を利用できない方のための資料を選定する。
 - イ 資料の内容については、一般資料の選定基準に準ずる。
 - ウ 利用に応じて、小説や実用書を中心に選定する。
 - エ 寄贈については、一般資料の基準に準ずる。
- (9) 電子資料の選定基準
- ア 調査・研究に有効な情報を含むものを選定する。
 - イ 常に新しい情報が得られるものを選定する。
 - ・インターネットデータベース
 - ・新聞雑誌記事・経済情報・図書目録・百科事典・判例情報など、常に最新情報が得られ、調査・研究に役立つものを選定する。
 - ・音楽・医療など、趣味や生活に即した、実用的な最新情報が得られるものを選定する。
 - ・CD-ROM
 - ・記録資料として、長期的に利用できるものや、紙媒体にない多様性をもった資料を選定する。
- (10) 視聴覚資料の選定基準
- ・音声資料
 - ア CDを中心に選定する。
 - イ 音楽を中心に、落語・朗読・話芸・語学など、多岐にわたる分野から、利用が見込まれる代表的な資料を選定する。
 - ウ 国内外の各種受賞作品・受賞者に留意して選定する。
 - エ 青梅市に関係する作品を、郷土資料として積極的に選定する。
 - オ 複本は、基本的に購入しない。
 - ・クラシック音楽（交響曲・管弦楽曲・協奏曲・声楽曲など）
 - ・国内外を問わず、代表的な作曲家・指揮者・演奏家の作品で、評価が定まり、利用が見込まれる資料を選定する。
 - ・特定の作曲家や、楽曲に偏ることなく、幅広く選定する。
 - ・新譜などについては、話題性を考慮して選定する。

- ・ポピュラー音楽（ポップス・演歌・ジャズ・イーजीリスニング・映画音楽など）
 - ・国内外を問わず、代表的な歌手・演奏家の作品で、利用が見込まれる資料を選定する。
 - ・特定の歌手やグループ、特定の音楽のジャンルに偏ることなく、かつ、一部の年齢層に利用が偏ることのないよう、幅広く選定する。
 - ・新譜などについては、話題性を考慮して選定する。
 - ・CDのシングル版は原則として選定しない。
 - ・テレビドラマのサウンドトラックは、一般的に流行が一過性であることから、選定しない。
- ・子ども向け音楽（童謡・唱歌・外国語など）
 - ・子ども向けに作られた作品を幅広く選定する。
- ・伝統音楽（民謡・邦楽・民族音楽など）
 - ・様々な国や地域の伝統音楽を幅広く選定する。
 - ・著名な音楽家の作品は、話題性を考慮して選定する。
- ・その他の音楽（効果音など）
 - ・行事用・効果音・癒しの音楽などの資料は、実用性を考慮して選定する。
- ・音楽以外（落語・朗読・話芸・語学など）
 - ・代表的な芸人や作品を中心に、幅広く選定する。
 - ・朗読資料は、朗読者や内容に留意して積極的に選定する。
 - ・語学の資料は、基礎の習得に役に立つ資料を中心に選定する。特に英語については、初級から上級まで幅広く選定する。
- ・映像資料
 - ア DVDを中心に選定する。
 - イ 映画・ドキュメンタリー・実用など、多岐にわたる分野から、利用が見込まれる代表的な資料を選定する。
 - ウ 国内外の各種受賞作品に留意して選定する。
 - エ 暴力・犯罪を助長する低俗な作品は選定しない。
 - オ 特定の思想・信条などに偏向し、それを流布するための作品は選定しない。
 - カ 青梅市に関係する作品を、郷土資料として積極的に選定する。
 - キ 複本は基本的に購入しない。ただし、著しく利用頻度が高いものは、内容を考慮した上で、複本1本まで購入することができるものとする。
 - ク 16,000円（アニメーションと幼児向けの資料は10,000円）を超える高額な資料は慎重に選定する。
 - ケ 視聴覚障害者用資料を積極的に選定する。
 - コ 長期的に継続して購入することが困難なシリーズものは、基本的に選定しない。
- ・映画（邦画・洋画・アニメーションなど）
 - ・ドラマ・コメディ・アクション・SF・時代劇・歴史もの・ドキュメンタリー・アニメーションなど、多岐にわたる分野から幅広く選定する。
 - ・劇場公開された映画を中心に選定する。劇場公開しないDVD商品用の映画、いわゆるVシネマは基本的に選定しない。
 - ・国内外を問わず、各種映画賞、映画祭などにおける受賞作品や、代表的な監督の作品を中心に選定する。
 - ・脚本・演出・映像美術など、国内外で一定の評価を得ている作品を選定する。
 - ・その時代の世相を反映した、代表的な作品を選定する。
 - ・テレビの連続ドラマは選定対象外とし、テレビドラマ派生の映画は基本的に選定しない。
 - ・外国の作品については、日本語の字幕が付いているものを選定する。
 - ・幼児向けの資料およびアニメーション作品は、読書推進の観点から、子どもの読書活動の停滞を招かないよう、内容に留意して選定する。このうち幼児向けの資料は、凶鑑的なもの、昔ばなし、絵本、学習・しつけ関連の作品を中心に選定する。また、アニメーション作品は、性的なものおよび暴力・犯罪を助長する低俗な作品は選定しないよう特に注意すること。
 - ・R指定された作品は、青少年の育成上の問題を考慮して、選定しない。ただし、PG12の作品については、各種受賞状況や内容等を精査した上で、利用に供するのに問題がないと判断

できた場合は選定することができる。

- ・ 実用（趣味・教養）
 - ・ 歴史・紀行・社会・ドキュメンタリー・文化・自然科学・芸術・文学・スポーツなど、市民の趣味や教養、生涯学習に役に立つよう、多岐にわたる分野から、基礎的な内容のものを中心に、実用的な資料を選定する。
 - ・ 実技や技法などを習得するためのものは、映像により動きが分かりやすく解説された資料を選定する。
 - ・ 歴史・ドキュメンタリー・記録作品は、客観性があり、記録的価値がある資料を選定する。
 - ・ ポピュラー音楽のコンサートビデオやミュージックビデオは選定しない。

4 選定に関する留意事項

次の資料は原則として選定しない。

- ア 個人を中傷し、またはプライバシーその他の人権・人格権の侵害をじゃっ起している著作物
- イ 特定の宗教団体、政党および企業等の宣伝傾向が著しいもの
- ウ 主に専門家や研究者が利用するような、高度な研究書、学術書
- エ 学習参考書、受験問題集、資格試験問題集
- オ ゲームの攻略法、ギャンブルの予測等に関する資料
- カ 楽譜
- キ コミックス
- ク CDやDVDなどのデジタルメディアが付属している資料で付属資料がメインになっているもの
- ケ アダルト本など性的表現が過激な資料
- コ 切り取ること、書き込むことを目的とした資料
- サ 特殊装備の資料や形態が複雑な資料
- シ その他公共図書館の蔵書としてふさわしくないもの

5 見直し作業

この基準は、常に見直しを行い、必要がある時はこれを改訂するものとする。

6 実施期日

この基準は、平成28年4月1日から実施する。